

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)		* 一般小売店〔酒〕（社員）	* ・アウトレット店舗の売上が伸びており、全体としては消費意欲の上昇が感じられる。
		百貨店（売場主任）	・節約志向の雰囲気は続いているが、富裕層を中心に良い物を購入したい客層は一定数みられる。郊外の店舗でなければ、積極的な営業活動で売上を伸ばせそうな機運が高まっている。
		百貨店（企画担当）	・現状の円安や株高、例年並みの気温といった条件が当面継続すれば、今月と同様の動きによって、インバウンド売上や外商売上は好転する。
		百貨店（営業担当）	・円安、株高の影響による高所得層の消費拡大のほか、企業業績の好転による賞与、給与増への期待から、中間層のボリュームゾーン商品の消費は、節約志向の底打ちが予想される。
		百貨店（販売推進担当）	・創業祭などのモチベーション企画が予定されており、身の回りという観点では、工夫の仕方によって景気は上向くという印象がある。
		百貨店（サービス担当）	・改装効果によって来客数の増加が見込まれ、前年実績を確保する傾向となるが、冬の寒さが本格化すれば、客足に影響が出ると予想される。
		百貨店（外商担当）	・米国の大統領選によって次期大統領が決まってから、株高、円安の傾向が続いている。この傾向がしばらく続けば、富裕層を中心とした高額品の購買意欲が高まると考えられる。
		百貨店（マネージャー）	・米国の次期政権の動向により、景気局面がどう変化するかにもよるが、富裕層の消費意欲は今後も好調が続く。マイナス金利政策で飛躍的に増加した百貨店友の会の満期が2月以降に到来するので、シニア顧客の売上は大きな伸びを見込んでいる。また、京都地区では富裕層向けの高級マンションの建設が増加し、入居に伴う家具や内装関連の需要が年末から発生しているため、今後も期待している。
		スーパー（社員）	・経済動向には不透明感があるものの、当社の顧客層のなかで高い割合を占める、パートなどの主婦の賃金上昇に後押しされ、食品部門は当面、現在の堅調さが続くと考えられる。
		コンビニ（経営者）	・イートインコーナーの利用はまだ増加することが予想され、ファストフード、総菜、コーヒー類、デザートなどの売上増による、客単価の上昇が期待できる。
		コンビニ（経営者）	・今までは中食中心の弁当や寿司が売れていたが、最近はチルド弁当が増え、客層も広がってきている。
		コンビニ（広告担当）	・来年は、期待を込めてやや良くなってほしい。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・高級品スーツ、ジャケットなどをオーダーする新規客が増加している。
		家電量販店（人事担当）	・株価の上昇による景気改善が進む。
		家電量販店（企画担当）	・電力に加えて、4月からのガスの自由化に伴い、既存住宅へのエネルギー管理システム導入を官民一体となって推進しており、光熱費への関心が高まっている。太陽光発電は売電単価が下落しているが、蓄電池とのセット提案で、震災などの非常時の備えにもなることから、需要が出てくる。
		乗用車販売店（経営者）	・新しい年になり、何となく前向きな気分になるかもしれない。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・来月早々に米国の大統領が交代となり、政治や経済がどのように動くのかは不透明であるが、小売業界は良い方向に進むことを期待している。
		観光型ホテル（経営者）	・今年になって、全ての月で前年を割り込んでいるが、来年1～3月の先行予約は、ほぼ前年に近い水準にまで回復してきたように見える。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊・宴会共に、単価はやや苦戦しているものの、販売量は好調に推移している。
	旅行代理店（役員）	・先行受注は国内、海外共に前年を大きく上回っている。景気改善の雰囲気の広がりからか、余暇への投資が増えてきたように感じる。	
	商店街（代表者）	・社会不安や、高齢化による貯蓄への不安が高まる。	
	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・今冬は気温低下の割に、アパレル重衣料関係の販売が回復してこない。従来に比べて、競争相手は相当減ったものの、伸びる時に伸びなくなったように感じる。	
	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・予測不可能で、米国の次期大統領次第となる。	

一般小売店〔精肉〕 (管理担当)	・良い業種と悪い業種の差は広がると思うが、全体的に悪い方向へは進んでいないと感じる。
一般小売店〔衣服〕 (経営者)	・年末のこの時期に購買意欲が増していないので、年明け以降も消費者は冷静に買物をするのではないかと。季節的な要因が多少あるとはいえ、数か月先の景気が現在よりも良くなっているとは考えにくい。
一般小売店〔野菜〕 (店長)	・大型店の出店が激しく、小型店は閉店していくしかないようである。
一般小売店〔自転車〕 (店長)	・冬は販売量が落ちる時期であり、1人当たりの客単価が下がるため、売上が伸びない。
百貨店(売場主任)	・インバウンドのほか、高額品の大きな伸びが見込めないとすれば、中間層の購買が増えない限り、好転は期待できない。化粧品、食料品などの一部商品の売上は堅調であるものの、その傾向に大きな変化はないと思われる。モノよりもコト消費が重視され、ファッションの消費が抑制される傾向はしばらく続くと予想される。
百貨店(売場主任)	・現状は悪くないが、今後もこの状態が続く。
百貨店(売場主任)	・消費税増税は免れたものの、季節の先取りをする消費者は年々減り、実需のみで購入する動きが増えている。今後も節約ムードは改善されない。
百貨店(営業担当)	・食料品の不振が続いており、今後の改善は期待できない。
百貨店(営業担当)	・富裕層の優良顧客については、昨今の株高が継続すれば、資産価値のある商品の買上が増える。
百貨店(服飾品担当)	・株価上昇に伴い、国内消費にやや良い影響が出てくるものと思われるが、この上昇には不安定な部分もある。冬のセール商戦は活発化する予測であるが、春の新しい商材の動きは慎重になるとと思われる。年々、2～3月の気温が春らしくなるのが遅れているため、衣料関係の売上はまだまだ厳しいと考えられる。
百貨店(売場マネージャー)	・郊外店舗はインバウンド需要が元々なかったため、為替変動の影響はあまり大きくない。ただし、現状の売上を支えている上位顧客は、株価に影響されることが多く、先行きはあまりに不透明で読みにくい。ボリュームゾーンの客については、必要な物を慎重に選ぶ傾向がますます強くなると予想される。
百貨店(販促担当)	・現在の株高に対する富裕層の動きが鈍く、高額品の売行きは低調である。衣料品も上向き要素は見当たらず、モチベーション関連の動きですら見込みにくい。
百貨店(商品担当)	・現在、円安基調のなかで株価が比較的高値で推移しているが、1月の米国の次期大統領就任によるT P Pなどへの影響が懸念される。また、インバウンド需要はほぼ前年並みで推移しているが、春節時期の実績確保は少し難しくなるため、春物の好調なスタートがない限り、順調とはならない見通しである。
百貨店(マネージャー)	・12月中旬以降、売場では年明けのクリアランスの下見と思われる客が、例年よりも多いとの声が聞かれる。それに伴い、年明けにスタートするクリアランスセールの初速には期待が持てるものの、長期的にはこれまでの買上客数、販売数量の減少傾向が、大きく改善する要素は見当たらない。
百貨店(マネージャー)	・全体としての大きな流れは変わらない。国内外には不安定要素が多いほか、期待する政策もないため、特に小売、物販関係は、少子高齢化による消費意欲の微減が続くと思われる。コト消費をモノ消費に、どう結び付けるかがかぎになる。
スーパー(経営者)	・業界では相変わらず消費者の安値志向は変化しておらず、集客できているのはディスカウント関連だけのように見受けられる。
スーパー(店長)	・当分は価格競争のほか、ポイントセールやバーゲンなどの販促競争による厳しい状況が続く。一方、収入の二極化により、ブランド品やこだわりの逸品などの動きも良くなる。
スーパー(店長)	・競合店の影響が一巡するまでは、大きな苦戦が続く。それ以外の競合業種に対しても、規模は小さいながら苦戦気味のため、すぐに良くなるとは考えにくい。
スーパー(店長)	・特に明るい材料も思い当たらず、これまでの傾向が改善するとは思えない。
スーパー(企画担当)	・競合店の開店予定がないほか、冬物商材の動きが例年並みであることから、大きな変化はない。
スーパー(経理担当)	・米国の次期大統領の就任による、為替や株価の変化のほか、新年度に向けた国内政策による消費マインドへの影響など、不確定な要素が多い。しばらくは良くも悪くも不安定な状況が続く。

スーパー（開発担当）	・これからの年末商戦で、どれぐらいの売上が見込めるかが不透明である。中小企業の冬季賞与もあまり上がっていないように感じるため、どれだけ消費全体が増えるかがかぎになる。
コンビニ（店長）	・来客数や客の様子からすると、急激に変化するとは感じられない。
コンビニ（店員）	・近隣の競合店の影響も大きく、景気の改善は期待できない。
衣料品専門店（販売担当）	・かなり景気が好調にならない限り、単価などを抑えた消費行動が続く。
家電量販店（経営者）	・所得が増える要素や、消費を喚起するような明るい兆しが見当たらない。
乗用車販売店（経営者）	・これから先の見通しは良くないと思う。毎年1～3月は不安定な月となるが、それが好転するほどの景気の良い話はない。
乗用車販売店（経営者）	・車検や新車の販売予約数もあまり伸びない。
その他専門店〔食品〕（経営者）	・今のところ、景気が良くなっているとは実感できないが、3月以降は少し景気が上向きになることが予想される。
その他専門店〔宝石〕（経営者）	・客は株価や為替の動向にすごく敏感になっている。今の状態であれば変わらないが、その推移によっては、今後大きく変化する。
その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・一時的な円安に終わる可能性もあるが、注目されるような価格設定ができなければ、現状からは変わりそうにない。
高級レストラン（企画）	・全体的な単価上昇の傾向はあるものの、インバウンドの伸びの低下、料飲客数の伸び悩みが予測される。
一般レストラン（経営者）	・最近では、クリスマスやバレンタインなどのイベントは、家でゆっくりと過ごすことが主流になっており、中食やテイクアウトの需要が増えると予想される。
一般レストラン（企画）	・比較的長期にわたって回復傾向が続いているが、このまま良くなるとは考えにくい。
一般レストラン（経理担当）	・米国の次期大統領が大きな変化を出すという期待感で、経済が若干動いているが、具体的な政策が出れば厳しい状況になることも考えられるため、それほど良くはならない。
その他飲食〔コーヒーショップ〕（店長）	・商品の改廃などを進めても、客足はなかなか上向かない。ボーナス支給のある12月も、状況が改善する傾向はみられない。
その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・不安定な状況が続いているため、大幅な伸びにはならない。
その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・缶コーヒーの動きには、あまり変化がない。気温のほか、競合する商品の動きに左右されることになる。
観光型ホテル（経営者）	・特に大きく変わる見込みがない。
観光型旅館（経営者）	・基本的には高い宿でも動いているので、慎重な価格設定次第という状況が続くようである。
観光型旅館（団体役員）	・宿泊施設の耐震工事のため、来客数は前年比で減少となっており、それに伴って街の経済状況も沈んでいる。一連の耐震工事が済むまでは、現状の動きが続く。
都市型ホテル（支配人）	・米国の次期大統領の就任式が終わるまで、当面は現状どおりで推移する。
都市型ホテル（スタッフ）	・特に目立つ大型イベントはないが、宿泊、宴会共に前年並みの予約状況で推移している。
タクシー運転手	・忘年会よりも新年会は少なくなると思うが、全体的には変わらない。
タクシー運転手	・1月に入ると、景気の改善にはもう一つの何かが必要となる。東京オリンピックは関東に恩恵が集まるので、大阪の景気に関しては観光立国の実現と中小企業の成長を期待する。
タクシー運転手	・年末年始の繁忙期なので売上は増えているが、景気が良くなるとは考えられない。
タクシー運転手	・外国人観光客が増えても、日本人観光客が少なくなってきたので変わらない。
通信会社（企画担当）	・アミューズメント向けゲーム機器は変革が必要な時期にきているが、成果が出るまでには時間がかかる。
テーマパーク（職員）	・アベノミクスによる消費の回復が、何となく停滞している。かつてよりも失業率は下がったものの、給料は上がっていない。デフレが長すぎたため、経営者の大半が、投資による業績改善ではなく、節約による緊縮経営から抜け出せない。この状態は、まだしばらく続きそうである。
観光名所（企画担当）	・前年比で売上が10%近く減少している状況は変わらない。現状はこれ以上落とさないようやっつけていくしかない。

観光名所（経理担当）	・来客数、売上共に前年比で8%増であった。暖冬で雪も降らず、客足が伸びた影響が考えられる。ただし、バスの団体客数がかなり減っているのが気になる。今月は良かったものの、理由がよく分からないため、先行きは不透明である。
遊園地（経営者）	・経済政策、雇用環境、顧客動向などを多面的にみても、景況感が改善する特段の要素は見当たらない。
競艇場（職員）	・全国発売のSGやG1グレードのレースにおける売上も、ほぼ横ばいで推移している。
その他レジャー施設 〔イベントホール〕 （職員）	・円安が進行しているなかで、生活に必要な物の調達を輸入に頼っているため、物価は上昇していく。ただし、非正規労働者を中心に給与はほぼ横ばいであるため、消費は停滞する。
その他レジャー施設 〔球場〕（経理担当）	・プロ野球のシーズン前であるが、コンサートや展示会、販売関係のイベントが予定されており、昨年並みの集客を期待している。
美容室（経営者）	・大型商業施設がなくなって3年が経過したが、新たな商業施設が建たない限り、人は集まってこない。
その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・今年の秋の体験学習から、生徒数の横ばい状態が続いている。
その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・オイルマッサージの仕事で服を脱ぐため、寒い時期は来客数が減る。
その他サービス〔ビデオ・CDレンタル〕（エリア担当）	・気候の影響もあるのか、じっくりと映画を鑑賞したり、書籍を読むというよりも、外出して時間消費型のサービスを楽しむスタイルが多いように感じる。
住宅販売会社（経営者）	・米国の大統領の交代による影響に不透明な部分があるため、しばらくは現状維持で推移する。
その他住宅〔展示場〕（従業員）	・新築住宅市場については、リフォームのように政府の需要喚起策もない。消費税増税の延期による様子見客の増加もあり、厳しい状況が続く。
その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・1月以降の株価の上昇や、企業業績の先行きの上昇期待など、景況感の底堅さが一段と改善しない限り、現状の停滞した状況は変わらないと思う。特に、分譲マンション価格の高騰は継続しており、販売が不調となる予感が高まってきている。
一般小売店〔時計〕（経営者）	・客と話をしている、何が不安かという話題になると、一番は年金額の不安定さである。自分たちの老後や、世の中の動きへの不安があり、ある客からは、信じられるのはお金だけという言葉も聞かれた。この客だけではなく、端々にそれが感じられる。入ってきたお金を使って生活を楽しむような、余裕のある雰囲気には程遠いと感じる。
一般小売店〔花〕（店長）	・年明けの1月は良くないと思われる。天候が安定しないので出荷量が減り、価格の高騰につながるため、販売量が減少する。
百貨店（営業企画）	・米国の次期大統領への期待が先行しており、就任後の政策効果が出てくるまでは様子見となる。現在は堅調な株価や為替のトレンドに変化が起きれば、消費マインドは低迷せざるを得ない。
スーパー（店長）	・株価は上昇傾向にあるが、先行きは不透明である。円安、株高による一般消費者への恩恵はほとんどなく、今後の社会保障費の膨張といった将来不安から、個人消費を支える世代の支出が更に少なくなると予測される。
スーパー（管理担当）	・年明けの米国の次期大統領就任までは不透明である。金利などに上昇の兆しも出てきているが、打ち出す政策によっては元に戻る可能性も十分にある。
家電量販店（店員）	・2月は閑散期のために悪くなるが、3月は決算の影響で回復すると予想される。
乗用車販売店（販売担当）	・新型車効果はそれほどみられず、サービス在庫も盛り上がり欠ける。
住関連専門店（店長）	・英国のEU離脱問題、米国の大統領選に伴う混乱などにより、為替の不安定な動きが続いているため、輸入業の利益が左右される。
高級レストラン（スタッフ）	・1月に入ると、いったん動きが落ち着く。
観光型旅館（管理担当）	・まず、原油の生産量削減による燃料費の高騰が、消費者の負担を様々な面で増やすと予想される。また、米国の次期大統領就任による先行き不透明感も、懸念材料となっている。
都市型ホテル（管理担当）	・客室単価が下落傾向にあり、以前ほどの勢いがなくなってきている。11月以降の円安傾向はありがたいが、まだまだ不透明感がある。

	都市型ホテル（総務担当）	・宿泊予約について、来年1月は前年比で若干減少しており、2月も中国の春節時期を含めた予約が大きく減少している。ほかのホテルも同様の傾向と聞いており、前年度とは様子が異なってきている。
	都市型ホテル（客室担当）	・イベントなどがある月は別として、最近の予約は更に間際化が進んでいる。先の予約状況も前年を上回っている月はなく、予想が難しい。
	旅行代理店（支店長）	・ベルリンでのテロを皮切りに、マスコミでは欧州全土が難民によるテロの危険があるかのように報じられているため、敏感な客は、いったん見合わせの雰囲気になっている。
	ゴルフ場（支配人）	・集客が伸びていない。
	競輪場（職員）	・例年の傾向からすれば、下降していく。
	住宅販売会社（経営者）	・顧客数の減少が、この先は確実に響いてくる。
	住宅販売会社（従業員）	・現状でも新築マンションの販売状況は厳しくなってきたが、秋商戦に出てくる新規マンションは価格の上昇が予想されているため、一段と厳しくなる。
	住宅販売会社（総務担当）	・景気の停滞によって引き合いが減少傾向にあるため、今後の契約量に影響が出る。
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・不動産の物件価格は下落傾向にあり、金融機関の融資残高も減少している。さらに、中小企業の給与の上昇も見受けられないので、景気は良くならない。
	× コンビニ（店員）	・お正月の直前が、年間で一番売上が増える時期なので、2～3か月先は通常の売上に戻る。
	× 衣料品専門店（経営者）	・取扱商品の価格が上昇していない。その一方、品質は低下しており、市場全体も同様の傾向である。
	× 一般レストラン（経営者）	・良くなる要素がなく、消費者の財布のひもは固い。
	× 一般レストラン（店員）	・年末ということもあり、テイクアウトが増えて売上也倍になったが、この先はイベントがないため、悪くなる。
企業 動向 関連 (近畿)	木材木製品製造業（経営者）	・新規事業の生産体制が整わず、需要量に見合う生産ができていなかったが、今後は生産量が増えてくる予定であり、売上、利益共に増える見通しである。
	繊維工業（団体職員）	・今後の景気動向にもよるが、当地域でのタオルブランドに関する取組により、徐々に需要が増えることを期待している。
	プラスチック製品製造業（経営者）	・年末の在庫調整の影響で、今が底だとみている。機械部品の需要はまだあり、ある分野に特化したメーカーは、2～3か月後は全体的な仕事量が増えてくる。
	金属製品製造業（経営者）	・為替も115円以上の円安ドル高となり、海外に対して競争力が出てきている。米国の次期大統領就任後もこの状態が続けば、良くなることが期待される。
	電気機械器具製造業（経営者）	・短期的な動きに限れば、企業による競争が活発になり、世界経済に活気が出ると思われる。米国の次期大統領就任による影響は読めないものの、短期的にはかなり期待できる。
	その他製造業〔事務用品〕（営業担当）	・新学期に向けて、多少は売上が伸びることを期待している。
	建設業（経営者）	・来年は無電柱化や土壌汚染調査など、東京都知事の取組もあって業界が活性化することが予想されるため、景気は上向きそうである。
	建設業（営業担当）	・建設投資ニーズは根強く、需要過多の状況が続いている。年が明ければ、米国の大統領交代などの影響も懸念されるが、最初の四半期に大きな変動はないと予想される。
	輸送業（営業担当）	・新店舗が増えた分、配達が増えてくる。
	その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	・円安、株高によって景気の上向き機運が高まっており、しばらくの間は現在のやや好調な情勢が続く。
	食料品製造業（従業員）	・年を越しても、良い話題がないように思う。為替の急激な動きで、輸入原料の値上げなどの話も少しずつ聞かれるようになってきた。原油の動きも気になるなど、輸入品を多く使用する業界のため、良くなるとは思えない。
	食料品製造業（経理担当）	・円安、株高が続けば良くなると思われるが、一般の消費者に波及するまでには半年以上かかる。
	繊維工業（総務担当）	・靴下の販売状況が非常に悪くなっており、この状態は今後も継続すると予想している。
	家具及び木材木製品製造業（営業担当）	・配達量には変化がない。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・状況が変化するような情報がない。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・取引業種によって波があるように思う。製薬会社の伸び率が下降傾向にあるなど、海外に研究や生産が移行した影響が、少し出てきているように感じられる。

化学工業（管理担当）	・米国の次期大統領による政策が不透明なため、円安、円高のどちらで推移するかが分からない。
窯業・土石製品製造業（経営者）	・この1年は中小製造業にとって厳しい年であったが、来年は政治がしっかりしてほしい。
金属製品製造業（管理担当）	・2017年前半は目立った物件情報はないものの、後半は若干の情報がある。ただし、価格競争に巻き込まれないようにしなければ利益を確保できない。
一般機械器具製造業（経営者）	・新規で大きな引き合いがあるものの、受注の先行きは見通せない。
一般機械器具製造業（設計担当）	・良くなる要素もなければ、悪くなる要素もない。
電気機械器具製造業（経営者）	・海外情勢は不透明さを増しているため、ここしばらくの状況は読みにくい。
電気機械器具製造業（営業担当）	・引き合い件数が増えない。受注はノルマ維持がやっとの状態である。
電気機械器具製造業（宣伝担当）	・年明けからスタートする米国の次期政権による、日本の景気への影響は少なからずあると思われる。ただし、どういった影響があるのか不明なため、変わらないというよりも、分からないという方が正しい。
輸送用機械器具製造業（経理担当）	・受注残の予想に変化はなく、景気の上昇感はない。
その他製造業〔履物〕（団体職員）	・大手企業を中心に、冬季賞与の増加のニュースが出ているが、我々中小企業の間では、そのような景気の良い話は聞こえてこない。個人消費の回復に期待したい。
建設業（経営者）	・これから年度末の工事では技能労務者不足が心配される。各社とも監理技術者不足に対応するための人材育成が急務であり、長期的な視点で根気強く継続させる必要がある。
輸送業（営業担当）	・トラックの運転手が不足しているのは、待遇を良くすれば解決しそうであるが、そのために値上げした運賃を客が納得しなければ、荷物は減る。
輸送業（営業所長）	・年末に関係なく、少量の配送の案件はあるものの、乗務員の確保が難しい。
通信業（管理担当）	・変動要素がない。
金融業〔投資運用業〕（代表）	・米国の次期大統領の就任に対し、世界情勢がどう動くかによる。今は様子見というところである。
新聞販売店〔広告〕（店主）	・ここ3か月は折込収入が上向いている。良いといえるレベルではないが、クリスマスや年末商戦の影響もあってか、あまりに悪すぎた状態から、少しましな状態に戻っている。
広告代理店（営業担当）	・売上の前年割れが、1年間続いている。
広告代理店（営業担当）	・年末からバーゲン期間に入るので、上昇していく様子が感じられるが、いつも1月下旬から2月は我慢の時期になるので、全体としては変わらない。
広告代理店（営業担当）	・今年度中は選挙もなさそうであり、大きな変化はない。
司法書士	・今月は不動産にやや動きがあったが、現在は案件が少なく、継続性があるかどうかは分からない。
経営コンサルタント	・生産や消費の指標をみても、大きな変動はなさそうである。あちこちの商店や大型小売店では、やや明るくなってきた感じはあるものの、これ以上良くなる傾向はみられない。
その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・年末に向けて忙しくなっていない。
その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・主要駅各店のクリスマス商戦をみる限り、明らかに単価は下がっているものの、来客数自体は外国人観光客の増加もあって軒並み増えている。一方、国内経済が浮揚する要素は全く見当たらず、現状維持が精一杯というところである。
その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・為替の円安傾向がそのまま続けば、今後の見通しも少しは良くなると思われるが、今の状態ではどうなるか分からないため、前に進めずに悪い状況が続いている。
その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・取り立てて大きな案件もなく、業界的には補助金などのトピックもない。
化学工業（企画担当）	・米国の次期政権誕生に向けて、為替が円安傾向となり、原料を海外に依存する食品業界では利益が減少する方向にシフトしている。今後、持ち直すことも予想できるが、いつも販売量が伸びる年末に利益が取りきれない状況を考えて、年始から厳しい状況が待っていると予想される。
金属製品製造業（営業担当）	・鋼材の値上がりが見込まれ、価格転嫁が遅れる分だけ収益が落ち込む。
建設業（経営者）	・1～2月は積雪の可能性があり、作業効率、需要の低下が予想される。

	輸送業（商品管理担当）	・12月はお歳暮やクリスマスプレゼントなどで配送量が増加したが、1～2月は減少する。
	金融業（営業担当）	・なかなか中小企業には良い風が吹いてこない。
	化学工業（経営者）	・3か月先までの問い合わせ件数や金額が、想定していたよりも10%以上悪いと、先行きの景気は更に悪くなる。
	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・今後の展望が見通せない。
雇用 関連	-	-
(近畿)	人材派遣会社（支店長）	・今後は年度末に向けて、需要の増加が予想される。
	アウトソーシング企業（社員）	・最低賃金が少し上がった影響が、少しであるが昇給する。
	新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・米国の次期大統領によるインフラ投資や、政策金利の引き上げで、年初しばらくは円安が続き、景気は改善するものとみている。その後は、米国の次期大統領が掲げた政策を実現できるか否かで、景気の方は大きく変化する。政策が実行できずに負のイメージが広がると、期待が落胆に変わり、景気は下向きに変化すると考えられる。
	職業安定所（職員）	・一部のゼネコンや公共工事の下請関連、店舗の清掃といったサービス業では、業務量や業績が安定しており、今後の展望はやや明るいという企業が増えつつある。また、求人は引き続き好調であるが、若年層の雇用を検討している企業は採用に慎重であり、将来に向けた育成を真剣に考えている姿勢がうかがえる。
	民間職業紹介機関（マネージャー）	・現状の求人の動きをみる限り、今後3か月は活況な状況が続く。
	学校〔大学〕（就職担当）	・年末の風景なのかもしれないが、景気は良い方向に進んでいるように感じる。
	人材派遣会社（経営者）	・来年は派遣業界にとってかなり難しい年となる。3年ルールにより、企業は有能な人材や年齢の若い人に絞って採用する傾向があるが、人材不足は否めない。需要と供給のアンバランスは当分続くほか、労働者派遣法の改正による影響として、人材派遣会社のM&Aもかなり出てくる。
	人材派遣会社（役員）	・人手不足の状況が続けば、景気浮揚の足かせになる。
	人材派遣会社（営業担当）	・社会保険の加入要件の変更など、扶養控除の内外での働き方を模索している人が、今後どのような働き方を選択するかによる。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・年末年始、年明け以降共に、特に上振れの要素はみられない。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・将来に向けてのビジョン構築の必要性を感じる。堅実な生活を求める傾向があるほか、メリットのある転職先も少ないため、人の動きが抑えられている。この状況はしばらく継続する。
	職業安定所（職員）	・ハローワークの窓口では、求人数の増加、求職者数の減少傾向が継続しており、雇用失業情勢は改善傾向にある。また、管内事業所への今後の展望に関するヒアリング結果では、現状維持とする事業所が多い。
	職業安定所（職員）	・求職者数は減少が続いており、大量の人員整理の予定なども聞かれない。一方、雇用者は増え、雇用保険の被保険者数も増加している。近畿の新規求人では、卸売、小売業が前年を下回っているが、大口求人を出していた事業所が、東京に本社機能を移したことが主な原因である。百貨店の売上はまだ回復途中で、スーパーなどでも1社当たりの求人数は落ちているため、個人消費が回復してくるまでは、景気は横ばいとなる。
	民間職業紹介機関（職員）	・建設日雇い求人部門は、社会保険の義務化の問題で、しばらくは業界が混乱する懸念もあり、求人数が伸びる兆候はみられない。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・直近の状態が今後も続き、変わらないと予想するが、米国や中国などの世界景気も気になる所であり、2～3か月先が読めない。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・4月からは新入社員が入り、求人は落ち着いた状況になるため、景気は横ばいとなる。
	学校〔大学〕（就職担当）	・新年度の採用活動が始まり、動きが増えたように思えるが、単年でみると一気に増えたとは感じない。
	アウトソーシング企業（管理担当）	・イレギュラーの仕事が入る予定もないので、暇になる。
	x	-